

合理的事實の生活だけではすまないと思ひます、も一つ「ありがたい」と云ふ、あの感じが大切だと思ひます。

○ 短い時間に、結論だけをのべた様なものでありますが、要するに、子供に經濟心を養ふ方法として一つには合理的事實に従て儉約といふ消極的事實の後に必ず「役に立つ」と云ふ積極的結果を伴はずと云ふ事。然しそれ丈でなくも一つこの經濟心を通してあらゆる物、それ自らに對しての尊重、愛惜の心「ありがたい、勿體ない」と云ふ感じを養ふ事が、人間の教育といふ大きい意味からして大切な事であると思ふのであります。(講演筆記大要)

さびしさにたへたる人の

またもあれな

庵なららむ冬の山さ

(山家集より)

## ○ 東京市校外兒童保護會の活動

去月二十七日から五日間を、同會では「兒童保護宣傳デー」として各所に有益なる講演會をひらき、ひろく東京の子供一般の爲に保護宣傳の聲を大きくされました。

街頭では自働車の戒笛におびやかされ、小路の角では自轉車におどろかされる不幸な都會兒童は唯一のがれ場である小公園でさへも、中、青年に防げられて居るのを、屢々見うけます。

文化の恩澤をあべこべに受けた状態にある、一般都會兒童の爲めかゝる宣傳は實に大なる方であり喜びであると思ひます。